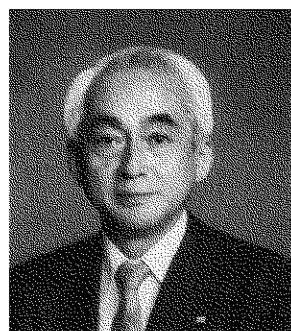


## 就任ご挨拶



### 会長 中島 達二

日本板硝子(株)取締役社長

この度、古本前会長のあとを受けまして、社団法人ニューグラスフォーラムの会長を勤めさせていただくことになりました。未熟者ではございますが、会員の皆様方のご協力、ご鞭撻を頂いて大任を果たしたいと存じます。

最近、当フォーラムの各方面における活動は大変充実して参りました。この事は、前任の古本会長がフォーラムの育成に大変努力された結果であります。誌上をお借りして、古本前会長のこれまでのご尽力に対し皆様と共に改めてお礼を申し上げる次第であります。

お引き受けしてから申すのも可笑しいものですが、副会長になっていただいた古本前会長、鈴木元会長が、共に非常に個性豊かなリーダーシップを発揮され、多くの実績をあげられましたので、もう何もやることがないのではないかと思うわけではありますが、3人の副会長の方々のご相談をしながら、また会員の方々のご意向をよく承りながら、一緒にフォーラムを盛り上げて行きたいと考えております。

ニューグラスフォーラムは、昭和60年に通商産業省窯業建材課の肝入りで設立され、その後ご指導を頂きながら社団法人化されたので、最初の発足以来5年、法人化後丸3年を経たわけであります。子供でいえば、幼稚園に入園する年、これからこそ手間ひま掛けて育てていかねばならない大切な時にさしかかっていると考えております。通商産業省には今後ともこれまでも増してご支援を頂きたく、とくに宜しくお願ひしたいところであります。

ニューグラスは、皆様のご努力もあって、今では諸外国にもある程度言葉として通用するようになっておりますが、ニューグラスフォーラムの発足と同時に出来た言葉であると伺っております。私はこのニューグラスについて私なりに三つの分類で理解しております。

一つは既存のガラスに対し何かプラスαしたもので、例えば加工に高度技術を用いているもの等を考えております。

二つ目は競合素材としてのニューグラス

で、従来ガラスが使用されなかったような所に、高機能のゆえに代替材料として使用されるものを考えております。

三つ目は最近の技術の進歩により、新しい製造法などによって出来るようになったガラスを考えています。例えばゾルゲルやCVDによるガラス製品がこれに当たります。

ニューガラスを以上の分類で考えてみますと、用途においても技術においても広い分野に跨がっていることが考えられますが、一方その故に我がフォーラムには、会員として非常に広い範囲の方々に加わって頂いているのであろうと思う次第であります。

当フォーラムには、現在約170社に会員としてご参加頂いておりますが、ガラス企業は四分の一に過ぎず、電気、自動車、機械、建設、化学、金属など、ガラスのユーザー或いは新規にニューガラスに参入されることを考えておられるであろうメンバーを含め、広い分野の企業の異業種融合体となっております。この様な広い範囲の会員の方々のご期待とご要望にどの様にお応えしていくのか、大変なことだと思っております。ニーズとシーズの多面的な情報交流をどんどん進め、会員同志の懇談の機会もこれまで以上に持つなどして、これから開けてゆくニューガラス産業の発展の中核として活動していきたいと存じます。

視野を国際面に転じますと、ニューガラス

の分野では海外の有力な企業に多数当フォーラムに加入していただいております。各種委員会活動、研究会活動に加わっておられる他、前会長のご提唱により昨年から取り組んで参りました「インターグラッド (INTERGLAD)」と名付けられました国際ガラスデータベースを構築するに当たって、それら海外有力企業ほとんどから全面的な協力を頂くことが出来たと伺っております。これなどは非常に素晴らしい国際的活動の成果ではないかと考える次第であります。今後もシンポジウムや調査活動など、国際的な活動を展開していく計画ですが、当フォーラムの活動が世界で受け入れられ、世界のニューガラス産業発展に寄与するものにして行きたいと考えます。

終わりにになりましたが、フォーラムの活動の展開にあたっては、無機材料工学、電子工学、精密機械工学或いは医用材料学などの広い分野の大学や国公立研究機関の先生方に、特別会員として或いは委員会委員としてご支援を頂いております。フォーラムとして今後の活動を進めるためには、基礎研究面における先生方のご協力が不可欠であり、今後とも今まで以上のご指導をお願いする次第であります。

以上簡単ですが、就任のご挨拶とさせていただきます。